

2017年7月10日

News Release

報道関係各位

一般社団法人 日本EVクラブ

『いざ、白馬!』

EV・PHVで、今年も白馬に集まろう!!

「ジャパンEVラリー白馬 2017」

2017年9月2(土)～4日(月) 開催

全国各地からEV&PHV(※1)が白馬に集結! 電気自動車のための夏山イベント、「ジャパンEVラリー白馬」が今年も開催されます。4年目を迎える今回は、これまでにないプレミアムなラリーを目指し、新たな企画をいろいろ用意しました。

参加車によるパレードや、EV&プラグインハイブリッド車試乗会といった恒例のイベントについては、例年どおり白馬村のスキー場Hakuba47を拠点に行います。これに加えて、今年は白馬東急ホテルをもうひとつの舞台とし、著名ゲストとともにEVの将来を読み解くユニークなシンポジウムや、ビューフェスタイルの懇親会を開きます。

さらにグレードアップした「ジャパンEVラリー白馬2017」を開催することで、自然と自動車との共生を考えながら、EV・PHVのさらなる普及をアピールします。

<ジャパンEVラリー白馬2017>

■開催趣旨

地球温暖化が、私たちの生活や企業活動を脅かすほどの現実的な驚異となりつつある今日、CO2(二酸化炭素)削減の必要性はますます高まり、電気自動車の存在がさらに大きくなっています。世界的なEV時代の到来を受けて、EVの普及を目指す一般社団法人日本EVクラブ(※2)は、「ジャパンEVラリー白馬 2017」(主催:一般社団法人 日本EVクラブ、共催:白馬EVクラブ、後援:白馬村、白馬村観光局、経済産業省<予定>、環境省<予定>)を、2017年9月2(土)～4日(月)の3日間にわたり、長野県白馬村で開催することにしました。電力の90%以上が水力による白馬村は、交通の電化を推進すると完全ゼロエミッション化が可能な環境対応観光地になりうる、EVラリーに最適な舞台です。

「ジャパンEVラリー」は、時間や速度を競う競技ラリーではなく、“集合・離散”というラリー(Rally)本来の意味に還ったものです。EVとPHVのオーナーが全国各地から集結し、語り学び遊び、親交を深め、そして解散するというイベントです。このイベントを通じて伝えたいことは、1)充電設備の普及によって遠方へのドライブにもEVは十分使えるということを示すことにより、EVに対する不安

を払拭する 2)EV はクリーンで静かなだけでなくドライブが楽しい疲れのない自動車だとアピールする
3)人と人、人と社会・地域、自然とつながる力があるということを伝える、です。加えて、大量の電気エネルギーを搭載したEV・PHVはキャンプなどのレジャーシーンから災害時にも電力を供給することができます。

これらのことにより、環境にやさしいEV・PHVの魅力を訴求し、その普及が促進されて、結果的に自動車におけるCO2が削減されることを願うものです。

4回目を迎えるに当たって、これまでとは異なる“プレミアムなラリー”を楽しんでもらえるよう、新たな会場作りや企画を準備しました。

メインイベントは白馬東急ホテルで開催されるシンポジウムです。参加のEVオーナー自らが“自身の役割”や“EVを通じた新たな社会について考えます。その後の懇親会ビュッフェパーティでは、松任谷正隆氏(※3)をゲストに迎えたトークをはじめ、楽しい企画を用意しました。

例年までと同様、白馬村のスキー場Hakuba47を拠点として、EVラリーゴールや白馬村EVパレード、ミッションチャレンジなどを行います。

また、恒例の「EV&プラグインハイブリッド車試乗会／フォーラム」(主催:白馬村、共催:白馬EVクラブ、企画運営:一般社団法人日本EVクラブ)もあわせて開催します。世界のEV・PHVに乗ることができる試乗会は例年人気のイベントです。今年は、初となる著名ジャーナリストによるドライビングレッスン(e-ドライブレッスン)付きの試乗会となりました。白馬村のみなさんを対象とし、白馬村の人たち自身が白馬村のモビリティについて考えるフォーラムは、EV何でもQ&Aコーナーも設けるなど、EV・PHVビギナーでも親しめる内容です。

充実したラリーイベントを多くの人に楽しんでもらうのはもちろん、EV・PHEVの性能の高さとその魅力を広く知ってもらい、これらの電動車両に触れることによって、いっそうの普及を促すものと考えます。

■ イベント詳細内容／スケジュール

9月2日(土)

①EVラリーゴール(Hakuba47)／10:00～13:00

自宅など任意の場所から、EV・PHVでゴールのあるHakuba47を目指して走ります。ゴール後、車両ごとに記念写真を撮ります。

②シンポジウム『EVの可能性を拓く(仮)』(白馬東急ホテル)／14:30～17:00

EVの将来の可能性について、参加者とゲストが一緒になって考えるシンポジウムは、今回のメインイベントです。「里山資本主義」(角川書店)の共著者、NHKエンタープライズ・井上恭介氏が特別講演を行います。

③EVラリー懇親会ビュッフェパーティ(白馬東急ホテル)／18:30～21:30

ビュッフェスタイルのパーティはジャケット着用です。高原のホテルで美味しい料理とイベントを楽しむ懇親会です。

- ・津波バイオリン演奏(※4)
- ・ゲストの松任谷正隆氏と日本EVクラブ館内代表による音楽とEVをテーマにしたスペシャルトーク
- ・参加者全員にEV普及アンバサダー認定を授与
- ・皆勤賞、遠くからきたで賞など特別賞を表彰

9月3日(日)

①EV・PHEVパレード(Hakuba47)／8:00～8:30

参加EV・PHVの有志により、白馬村を巡る恒例のパレードです。

②EVラリーミッション(Hakuba47)／8:30～11:30

「ジャンプ台の金のリフト、ゆるキャラ村男など、ラッキーアイテム探し」「天空のレストランでテラスランチ」「水力発電所見学」etc…。あらかじめ用意したミッションをクリアした方に賞品を贈呈します。

③ミッション表彰式(Hakuba47)／12:30～13:00

表彰式終了後、ジャパンEVラリーは解散となります。

④eドライブレッスン付きEV & プラグインハイブリッド車試乗会(Hakuba47)／10:00～16:00

国内外自動車メーカーの最新EV・PHVが一堂に集まる無料の試乗会です。誰でも参加できます。著名自動車ジャーナリストが助手席に乗り、EVやPHVの魅力や特性について説明したり、走行のポイントを伝授します。(一部車両はeドライブレッスン付きではありません)

[試乗車(予定)]

トヨタ／プリウスPHV

三菱／アウトランダーPHEV

BMW／i3、225xeアクティブツアラー、330e、MINI Cooper S E Crossover ALL4など

VW／ゴルフGTE、パサートGTE

アウディ／A3 sportback e-tron

メルセデス・ベンツ／GLC350e

テスラ／モデルS

ボルボ／XC90 T8 Inscription

9月4日(月)

①eドライブレッスン付きEV & プラグインハイブリッド車試乗会(Hakuba47)／10:00～16:00

前日と同様の内容です。

②フォーラム『白馬村のモビリティを考える(仮)』(Hakuba47)／14:00～15:30

地元の村民や観光事業者の方々に参加しやすいよう、平日の月曜日に開催します。EVを活用する方法や意義について、白馬村のみなさん自身に考えていただく参加費無料のフォーラムです。また

Q&Aコーナーを設け、EVとPHVの特性の違いや電費のことなど、参加者のみなさんから寄せられたさまざまな質問に答えます。試乗会場では充電器からEVに充電する体験もできるなど、EVビギナーにとっても気軽に参加できる内容です。

(プログラムやスケジュールは予告なく変更になることがあります。)

※1) PHV=Plug-in Hybrid Vehicle(プラグインハイブリッド自動車)、外部電源から充電できるハイブリッド車。

※2) 一般社団法人 日本EVクラブは、1994年10月に自動車評論家の館内端を代表として設立。EVを中心にエコカーの普及と、未来のモータリゼーションの創造、地球温暖化防止と石油エネルギーの節約を私たち自身の問題として考え、主体的に活動中。

※3) 1970年代に「キャラメル・ママ」を結成し、以降ミュージシャン、音楽プロデューサーとして活躍。妻、松任谷由実のコンサートでは演出も手がける。その一方で、「カーグラフィックTV」のレポーターを務めるなど、モータージャーナリストとしてもよく知られる。

※4、東日本大震災の廃材を利用し、製作された津波バイオリン。国内外の演奏家が1000人になるまで弾き継ぐことを目指し、現在も全国津々浦々でコンサート活動を行っている。

■募集要項

- ・参加資格／EV・PHVに乗って参加のこと。レンタカーも可。
- ・エントリー料／全クラス共通 1台につき14,000円(1人ぶんのビュッフェパーティ代・フリードリンク付き含む。記念Tシャツ、ステッカー等のお土産付き)
- ・同伴者は、別途パーティ代7,500円(小学生以下はお子様ディナープレート飲み物付き4,000円／1人、中学生以上は大人扱い)がかかります。
- ・参加申込／事前申込が必要(ホームページより申込)
- ・試乗会&フォーラムは無料です。事前の参加申し込みは必要ありません。

詳細は、EVラリー特設ウェブサイト <http://rally2017.jevc.gr.jp/> をご覧ください。

●取材ご希望の方は、別紙にてお申し込みください。

以上

☆問い合わせ先

一般社団法人 日本EVクラブ事務局 石川響子

〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-20-10-401

TEL 03-5376-8446 FAX 03-5376-5310 <http://www.jevc.gr.jp> E-mail: info@jevc.gr.jp